

さんぱく 90

日本産業技術史学会々報 2018. 11

事務局より
第35回年総会について
第32回学会賞募集公告
2018年度第2回理事会議事録
新入会員の紹介

事務局より <http://www.jshit.org> / office@jshit.org

*** 会費納入のお願い** 2018年度年会費(一般 7,000円、学生 5,000円)を納入ください。
学会運営の安定のためご協力をお願いします。振込先は下記です。

ゆうちょ銀行 00980-3-21800

りそな銀行千里北支店 2477167

ゆうちょ銀行払込用紙(払込料金学会負担)がお手元にならない場合は、事務局までご一報ください。折り返し、郵送いたします。また、りそな銀行への振込では所定の手数料を差し引いて送金してください。

第35回(2019年度)年総会について

神戸山手大学現代社会学部・井上尚之教授のお世話で、6月15-16日に開催します。年総会は6月15日、見学会は翌日16日に福寿酒造酒蔵及び竹中大工道具館を予定。

神戸山手大学 <http://www.kobe-yamate.ac.jp/>

福寿酒造 <http://www.shushinkan.co.jp/>

竹中大工道具館 <https://www.dougukan.jp/>

詳細は次号以降の「さんぱく」で、またホームページに逐次掲載します。

一般講演の申し込みについて今年度と同様。

- 1) 一般講演報告の登壇は1人1件とします。(他の登壇者の報告での連名については問わない)
- 2) 登壇者が会員外の場合は会員が連名であること。(会員外報告者の入会を望みます)
- 3) 申込みの締切は3月31日とします。
- 4) 表題・報告者氏名(登壇者に○を付す)に、講演**概要**(100字以内、プレーンテキスト厳守願います)を付し、学会事務局 office@jshit.org まで、電子メールにて申し込んでください。折り返し講演**要旨(1件4ページ)**原稿の執筆要綱及びテンプレートを送ります。

- ・報告者と講演タイトルおよび「**概要**」を、4月中旬に「さんぱく」に掲載します。
- ・講演要旨は当日配布とします。
- ・お問い合わせは、学会事務局まで、電子メールまたは郵便にて願います。

テーマセッションは計画中。また、意見・要望・提案があれば office@jshit.org まで寄せてください。

第32回(2019年度)学会賞募集公告

標記学会賞の推薦を下記のように受け付けます。

募集する学会賞の区分 学会賞、奨励賞、資料特別賞及び特別賞

対象業績 産業技術史研究に関わる業績であって、2016年1月1日から2018年12月31日までに

公刊されたもの(刊行物の奥付の日をもって公刊の日とする)。

推薦 自薦、他薦を問わない。

推薦者 本学会会員に限る。

各賞の対象区分

学会賞 会員の業績であって、特に優れた学術的著書もしくはそれと同等のもの

奨励賞 会員の業績であって、「学会賞」に準ずる著書及び学会誌に掲載された一連

- の論文(同一筆頭著者、2本以上を条件とする)
- 資料賞 会員の業績であって、資料を紹介した優れたもの。
- 特別賞 会員外の業績であって、産業技術史に深くかかわる特段に優れたもの。

推薦手続きについて

- **下記に示す推薦書様式**による推薦書を簡易書留により、候補業績一部を添え(必須)下記送付先に送ってください。候補業績は、審査終了後返却しません(返送料は当会負担)。
- 送付先、535-8585 大阪市旭区大宮 5-16-1
大阪工業大学知的財産学部気付
廣田研究室内 日本産業技術史学会賞選考委員
- 推薦締め切りは、2019年1月15日(当日消印有効)とします。

問い合わせは、office@jshit.org まで。

なお、応募業績は、学会会員の内より学会理事会が選任した委員3名で構成する審査委員会で審議され、学会賞受賞者を決定し、当該年度の学会総会において学会賞を授賞します。授賞式に引き続き、受賞者には受賞講演を行っていただきます

(推薦書様式)

第31回日本産業技術史学会賞推薦書

下記の業績を、.....賞候補として推薦します。

.....年月日

推薦者氏名 ⑩

記

候補者氏名

候補業績

内容要約及び推薦理由

注記) A4(本ページを含め全2枚以内)で作成し、推薦者及び候補者の連絡先を文末に記してください。

日本産業技術史学会賞規定

1. 日本産業技術史学会（以下、学会と記す）に寄贈された基金により、「日本産業技術史学会賞」を設立する。
2. 基金寄贈者の意思を尊重し、基金は特別会計として独立に管理する。
3. 賞は産業技術史研究の優れた業績に対して授与するものとし、次の5種類をおく。
 - 1) 学会賞 特に優れた学術的著書もしくはそれと同等の業績に対し授与する。
 - 2) 奨励賞 「学会賞」に準ずる著書及び学会誌に掲載された一連の論文(同一筆頭著者、2本以上を条件とする)に対し授与する。
 - 3) 資料賞 資料を紹介した優れた業績に対して授与する。
 - 4) 特別賞 特に優れた業績に対して授与する。
 - 5) 優秀論文賞 前年の会誌『技術と文明』に掲載された論文から特筆すべきものを選定し表彰する。
4. 学会賞、奨励賞、資料賞及び優秀論文賞は、学会会員の業績を対象とする。特別賞は会員以外の業績を対象とする。
5. 学会賞、奨励賞、資料賞及び特別賞は毎年授与する。ただし、各賞を授与すべき業績がない場合は当該年の授与をおこなわない。受賞対象の業績は、授与前年の12月31日より遡って3年以内に公刊されたものとする。なお刊行物の奥付の日をもって公刊の日とみなす。
6. 学会賞、奨励賞、資料賞及び特別賞の授賞対象論文は公募とし、会員による自薦および他薦による。公募の方法については別に定める。
7. 学会賞、奨励賞、資料賞及び特別賞の応募業績については、学会々員の内より学会理事会が選任した委員3名で構成する審査委員会で合議のうえ、受賞者を決定する。なお、必要に応じ他学会々員を審査委員会委員に加えることができる。
8. 「優秀論文賞」は、編集委員(冊子版及び電子版)による投票に基づき編集委員会が決定する。
9. 受賞者には副賞として学会賞、特別賞に各10万円、奨励賞、資料特別賞に各5万円、優秀論文賞に3万円を贈る。
10. 授賞は当該年度の学会総会の際に行う。学会賞及び特別賞の受賞者には総会と同時期に行われる学会年会で受賞講演を行う機会が与えられる。

(付則)

1. この規定は1988年度から実施する。
2. 基金寄贈者の氏名はその意思を尊重して、当分の間、公表しないこととする。
3. この規定は2017年10月3日に改定し、施行する。

2018年度第2回理事会議事録

日時：2018年10月7日（日） 11：00～13：30

場所：名古屋工業大学24号館418号室

出席者：麓和善、天野雅敏、石村眞一、鈴木淳、平野恭平、廣田義人、堀尾尚志、馬淵浩一

委任状：田中一郎、夏目賢一、橋本毅彦

欠席：市川浩、亀井修、武藤夕佳里、山田大隆

議事案件

1. 2020年の年会開催予定地について

前回理事会で、金沢工業大学での開催が提案されていたが、2020年8月に国立近代美術館工芸館の金沢への移転が予定されているため、その後の方がよいのではないかと夏目賢一理事から意見があった。審議の結果、2020年は東京大学で、2021年に金沢工業大学で開催することとした。

2. 日本技術史教育学会との連携について

標記学会のメンバーから活動の連携について打診があったことに関して、互いに活動内容について十分な理解がないので、まずは学術的な相互交流を試みることにした。

報告事項

1. 本会運営の状況(財務)について

廣田理事から資料に基づき、2018年度の現在までの収支状況について、特別な出費はなく、平常的な支出であるとの説明があった。会費納入状況については、会員137名のうち、2018年度まで完納102名、1年末納20名、2ないし5年の滞納11名、6年以上の滞納4名との説明があった。会費納入が見込めない場合は除籍することを申し合わせた。

2. 本会運営の状況(会員の動向等)について

廣田理事より、現在の会員数は137名で、2016年の入会10名、退会1名、2017年の入会6名、退会4名に対して、2018年は現在までに入会11名、退会9名となっており、わずかながら入会が退会を上回っているとの報告があった。

3. 会誌(冊子版)の編集及び発行予定について

欠席の田中理事から事前に寄せられた報告によると、22巻1号について、現在、論文1本掲載可、論文と研究ノート各1本査読中で、書評1本がある。4月以降新規投稿がないが、1冊分のページ数になり次第発行する予定とのことである。

4. 会誌(電子版)の編集及び配信予定について

石村理事より、前回理事会以降、論文1本を新規に掲載し、計4本が掲載されてい

る、現在、配信予定はない、との報告があった。

5. 来年度年会の開催について

来年度の年会は神戸山手大学(井上尚之実行委員長)で開催し、日程は6月15・16日の予定である。

6. その他

組織拡大について意見交換をし、次回理事会で十分な検討ができるよう、組織拡大につながる具体的提案や、入会候補者のリストアップなど、理事各自が事前に事務局(会長)に提案することを申し合わせた。

新入会員の紹介

| | | |
|---------------------|---|-----------------|
| 中村弘行 | 259-0201 足柄下郡真鶴町真鶴 1946-184 | 0465-20-3003 |
| | 250-0045 小田原市城山 4-5-1 | 0465-22-1301 |
| | 小田原短期大学食物栄養学科 toisekai@sepia.ocn.ne.jp / nakamyra@odawara.ac.jp | |
| 江口 誠 | 560-0032 豊中市蛸池東町 4-9-2-101 | 080-6208-0953 |
| (工業技術史) | 570-0039 守口市橋波西之町 1-5-18 | |
| | 大阪電気通信大学高等学校 kangkuseong@gmail.com / m-eguchi@dentsu.ed.jp | 06-6992-6261 |
| Aleksandra | 15 rue Claude Beranrd, 75005 Paris | |
| KOBILJSKI | 54 boulevard Raspail 75006 Paris, France | |
| (日本産業革命 19世紀技術史) | Centre de recherches sur le Japon, EHESS aleksandra.kobiljski@ehess.fr | +33-1-4954 2575 |

日本産業技術史学会会報「さんぱく」90 ISSN 0912-8476

発行日 2018 年 11 月 1 日

発行・編集 日本産業技術史学会

大阪市旭区大宮 5 丁目 16 番 1 号

大阪工業大学知的財産学部 廣田研究室